＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
TRACK 02｜翌日の再会と裁き
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
指示がないセリフは
【咀嚼音】が始まりましたら【嚥下音】までは
【やや口に含んでいる様に(セリフの聞き取りやすさ優先)】にて
ご収録くださいませ。
(必ず、緻密に、ではございませんのである程度、ご留意頂く程度で構いません)

<完全な無音：約 2 秒>
<小鳥の鳴き声。解放されて一夜過ぎたことを表現。草むらの BGM を☆まで再開>
<間 2 秒>

昨日ぶり。
彼女、嫌がっていますよ。
離れてあげてください。
そして私は今、とても残念です。
昨日の約束を忘れたんですか？
…。
昨日、私の鎌を見たときは、あんなに怖がっていたのに。
気弱そうなあの子には、ためらわず近づいたんですね。
危険が分からないんじゃない。
誰なら自分の欲望を押し通せそうか、相手を見て選んだんですね。
ほんと男ってそう。
知能は低いくせに、性格の悪い悪知恵だけは変に働く。

<SE: 勢いよく捕まえる音>

女性の敵。
もう許しません。
私だから、命だけは許してあげようと思いましたが、
他の女性にまで迷惑をかけるなら話は別です。
……昨日の音、覚えていますか？
私たち女性に伝わる、三度の葉音。
今日も、鳴らしますね。

<SE：葉を軽く叩く音。3 回>

……はい。
昨日と同じ音です。
でも、今日はもう、昨日と同じ結末にはしません。
それでは、さっそく。
いただきま──。

<SE：少し離れた草むらから、葉を一度叩く音。直前の三度の葉音とは音程や距離感を変える>

…あら。
聞こえました？
先ほど、私が葉を三度鳴らしたでしょう？
今のは、あなたが襲おうとした、あの子からの返事です。
返事にも決まりがあります。
葉を一度鳴らしたら、「その男を許してあげて」。
二度鳴らしたら、「その男を許さないで」。
あの子、無事に、安全な葉陰まで逃げられたみたいですね。
…よかった。【少し安堵した声】

でも…。
一度だけ、でしたね。
つまり、あの子は、あなたを許してあげてほしいと言っているんです。
…。
あんな怖い思いをしたのに、あなたを許してほしいだなんて。
……あなたは、こんなに優しい女の子を傷つけたんですよ。

生きる資格なんてありません。【声を低くする】

私が責任を持って、今度こそあなたを食べて、ここで終わらせます。
…あの子には、後で私から説明します。

男に慈悲を与えれば、今度は他の女性が危険にさらされる。【声を低くする】
だから、男に慈悲を与えてはならない。【声を低くする】

気を取り直して。
今度こそ、いただきます。

【咀嚼音 55 秒 + 嚥下音 4 回】

…。
昨日、私があなたを逃がしたこと。
あれを、好意だと思っていませんか？
…。
女性が親切にしたからといって、その女性があなたを好きになったわけではありません。
女性は本来、誰に対しても優しいんです。
男なんかよりずっと寛容で、慈悲深くて、豊かな心を持っているんです。
…なのに、男はそんな女性の優しさを汚してしまうんです。
男がこんなんだから、女性は男に親切にできないんですよ。
男の単純な脳では、理解できないかもしれませんけどね。

【咀嚼音 10 秒】
【嚥下音 1 回】

…。
あなたにとって、女性とは、欲を満たすための道具なんですか？
せっかく生かしてあげたのに、そんな女性の慈悲を踏み躙って、
他の女性の意思を再び無視して襲おうとして。

あの子には、「なつき」という名前があるんです。
そして私には「綾子」という名前があります。
知ってましたか？
なつきがどんな葉の上で休むのが好きなのか。
私綾子が何を怖がって、何を楽しみに生きているのか。
知ろうとしたこと、あります？
…ないでしょうね。
あなたに見えていたのは、「なつき」でも「綾子」でもなく、「女」だったんですから。
女性は意思を持つ主体なんかじゃない。
ただそこにあるだけのモノ。
動くオナホ。
道具。
それがあなたの認識です。

ほんとに頭おかしいですね、あなた。
そんなおかしな頭の中身、私が綺麗に飲み込んであげます。

【咀嚼音 5 秒】

喜んでください。
セックスしか考えられない男の原始的で単純な脳みそが、
今、女性に食べられて、
女性の複雑で高度な脳みそに変換され始めました。
男は、女性に食べられて、女性の材料になることで
グレードアップできるんです。
嬉しいでしょう？

【咀嚼音 10 秒】
【嚥下音 1 回】

……ふふ。【嘲笑う】

【咀嚼音 5 秒】

男の脳みそなんて、気持ち悪くて食べたくもありませんが、
それでも私はあなたを食べないといけないんです。
だって、
こんな男、
野放しにしていたら、
世の女性が無用な被害を受けます。

自分のことしか考えていないあなたたち男と違って、
私たち女性は、仲間が危険なときには助け合います。

【咀嚼音 5 秒】

なつきが危険な目に遭ったとき、私は助けに入りました。
女性である私は、女性であるなつきの味方です。
そして私が困ったときは、別の女性が応えてくれるでしょう。

私たち女性は、そうやって連帯して生きてきたんです。
単細胞な男には、決して真似できない、とても高度な仕組みです。

【咀嚼音 5 秒】

事実、今、女性に食べられている男のあなたを
他の男は助けに来てくれません。
男という生き物は、連帯するには知能が低すぎるんです。
【咀嚼音 10 秒】

…そういえば。
昨日から何度も聞いてもらった、三度の葉音。
その意味を、冥土の土産に教えてあげます。
あれは、私たち女性が何世代にもわたって受け継いできた、三つの祈りなんです。

<SE：葉を軽く叩く音>

一度目は、自分を性被害から守るため。

<SE：葉を軽く叩く音>

二度目は、他の女性たちの平穏な暮らしのため。

<SE：葉を軽く叩く音>

そして三度目は、まだ生まれていない女性たちの未来のため。
子供の頃、姉からよく教わりました。
「男は自分の欲望に夢中になる。でも女性は、自分だけでなく、
仲間や次の世代のことまで考えなければならない」…と。
…。
姉も、その前の世代の女性から教わったそうです。
そうして女性たちは、命だけでなく、知恵や経験、そして女性の歴史も受け継いできました。

一方、男が残してきたのは、精子だけ。

まさに精子製造機ですね（笑）
精子製造機に歴史なんてありません（笑）
知恵も、経験も（笑）

…昨日も私は、葉を三度鳴らしました。
姉に教わったとおりに。
でも…。
私は、音を鳴らすことばかり覚えていて、
その意味を忘れていたんです。
…。
今度こそ、忘れません。

【咀嚼音 10 秒】

不思議な因果ですね。
女性を道具として扱い、女性たちの連帯と結束を壊そうとした男が、
今度こそ女性に食べられることで、女性たちの連帯と結束を示す道具になるんですから。

【咀嚼音 15 秒】
【嚥下音 1 回】

これで、あなたの頭部は耳以外、すべて私のお腹に入りました。
味の感想は、薄味でした。
食感もスッカスカ。
男の脳みそって、何も詰まってないんですね。

さて、あなたの両耳ですが、
…やっぱり。耳カス、溜まってます。
このまま食べると、汚いのが混ざります。
食べやすくするために、舐めて落とします。
じっとして。鎌、外しませんから。

【両耳舐め。60 秒ほど。時々耳たぶを噛んだり、耳の穴を吸ったり、舌を高速で動かしたりする】
【頭部のみの状態なので両耳から聞こえる(後ほど mix)】
【右耳舐め分 60 秒】
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
【左耳舐め分 60 秒】
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

なかなか綺麗になりませんね。
男がどれだけ汚れてるか、とてもよくわかります。

昨日食べ残してあげた脚を、先に食べます。
但し、右の鎌だけはまだ食べないであげます。
しこしこ、したいでしょうからね。

【咀嚼音 10 秒】

あなたにとって今日は、
女性に命を奪われる、人生最期の日です。

【嚥下音 1 回】

【左耳舐め 10 秒】
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

でも私にとっては、昨日も、今日も、明日も、いつものように暮らしているだけです。

【右耳舐め 10 秒】
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

男の人生の中心には、いつも女がいる。
でも、女性から見た男はただの食事。

【咀嚼音 5 秒】

女性の人生の中心に、男はいません。

【嚥下音 1 回】

……。
さて、これであなたは脚を、右の鎌以外すべて失いました。
もう逃げることすらできません。

【右耳舐め 10 秒】
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

普通なら。
もうセックスどころではありません。
怖い。
逃げたい。
助かりたい。
そう考えるはずです。

なのにあなたは、まだセックスしたい。

脳みそが無くなっても、本能に残るのがそれなんですね。

そして、唯一食べ残された右の鎌で、自慰行為を続ける。

ほんっと。
男って、下半身に脳みそがついてますよね。
考えるはずの頭を失ったら、そのまま欲望だけで動く。

女性に嫌だと言われても。
自分がどんな状況でも。
オナニー。
セックス。
最後まで、それしか考えられないんですね。

気持ち悪い。【心底呆れた声】

本当に、どうしようもない変態男。

【左耳舐め 10 秒】
@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

お次は、どこを食べられたいですか？
……。
あ、口がないので喋れませんね。
じゃあ、胸を食べてあげます。
…あ、左の乳首だけは、食べずに取っておきましょう。
授乳できない劣った乳首。
子供を産むことだけじゃなく、おっぱいを飲ませることまで女性任せ。
ほんと男って最低。

《状況説明: 左乳首はここで取り分け、とっておく。あとでなつきに「お裾分け」することになる》

【咀嚼音 15 秒】

さっきまでは、私に抵抗できましたね。
でも今は、逃げることも、私を止めることもできない。
私が続ければ続き、止めれば止まる。

自分のことを異性に勝手に決められる気分はいかがですか？【右耳元で少し小さな声】
あなたが襲おうとした女性たちも、怖かったんですよ。【左耳元でささやく】

【咀嚼音 10 秒】

私があなたを食べる度に、
ひとつずつ、
あなたが外の世界と関わる方法そのものが、
少なくなっていく。

今あなたにできる事は…。
右の鎌でしごくこと。
意味もなく腰を振ること。
私の声に、おちんちんをビクンッとさせて反応すること。

それくらいしか、残っていませんね。

可哀想。

でも。
自業自得ですよ。

女性を道具ではなく、一人のカマキリとして尊重すればよかった。

でも、できなかった。

だから今、ここにいる。
私に食べられながら。【囁き】
…。
あ。

おちんちんの先から我慢汁が漏れてる。
そんなにセックスしたいんですか？

嫌です。【冷たい声】

何度でも言います。
私は、あなたとはセックスしません。

あなたがどれだけ
残り少ない時間で必死になっても。

私はあなたの道具ではありません。

女性が拒否したら、そこで終わり。
…分かりました？

まあ。
分かったとしても、もう遅いですけれど。

【咀嚼音 30 秒】
【嚥下音 1 回】

ふふ。
随分、
静かになりましたね。

あなたはもう、
羽がない。
頭がない。
胸もない。
脚もほとんどない。
あなたの身体のうち、まだ食べられていないのは、
両耳と、左の乳首と、右の鎌と、腹部と、その先にある
「劣った性別の証」
だけ。
いまからは、腹部を食べます。

【咀嚼音 10 秒】

こんな姿にされても、まだしこしこ続けるんですか？

ふふ。【小さく笑う】
少し、気味が悪いくらいです。

【咀嚼音 5 秒】

最期の最期まで、自分の性欲に忠実。

ある意味、一貫していますね。

【咀嚼音 25 秒 + 嚥下音 2 回】

はい。
しこしこタイムは終わりですよ。
右の鎌、いただきます。
腹部、食べ終わりましたので。

【咀嚼音 10 秒】

安心してください。
最期の情けとして、しばらく手コキしてあげますから。
私が手コキしてあげてるときだけ、気持ちよくなれる。
してあげないときは、気持ちよくなれない。
本当に惨めですね。
はい、しこしこしこしこ〜。

【咀嚼音 10 秒】
【嚥下音 1 回】

さあ。
もう、
終わりですよ。
しこしこしこしこ〜。
あなたは今、両耳と、左の乳首と、おちんちんだけになりました。